

【開園時間】

期 間	無料区域	有料区域
4月～6月、10月～11月	8:00～19:30	8:30～19:00
7月～9月	8:00～20:30	8:30～20:00
12月～3月	8:00～18:30	8:30～18:00

【休館日】

7月の第一水曜日とその翌日

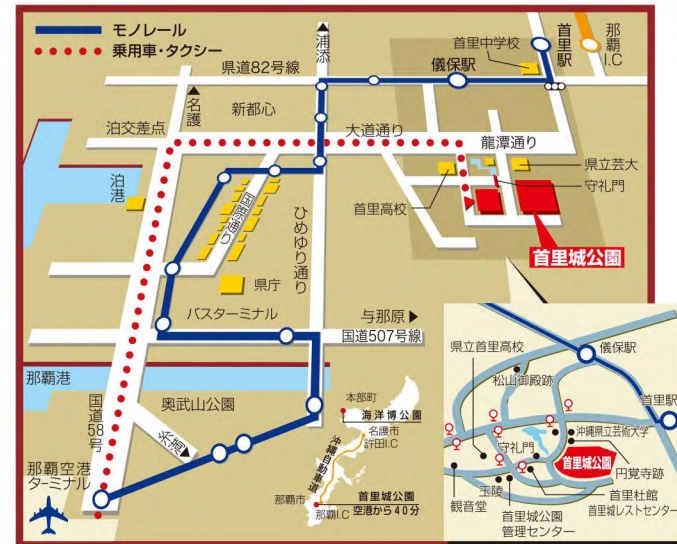
※入館券販売締切は閉館時間の30分前

【入館料金】

	大人	中人(高校生)	小人(小・中学生)
一般料金	820円	620円	310円
団体料金	660円	490円	250円
年間パスポート	1,640円	1,240円	620円

- ・団体は20名様以上
- ・モノレール(ゆいレール)のフリー乗車券(一日券・二日券)をご利用中のお客様は、首里城公園券売所窓口にて乗車券の提示により、団体料金の適用となります。
- ※フリー乗車券の有効期限内において、一枚につきお一人様一回限りの割引となります。

【アクセス】



※駐車場に限りがありますので、バス、タクシー、モノレール等の公共交通機関をご利用ください。

御城だより

UGUSHIKUDAYORI

2019
1

首里城公園企画展

琉球の江戸参府

琉球使節と楽童子 / 御座楽 ～献上された琉球楽器～

御内原エリア等開園記念グッズ

開園記念の思い出にぴったりのアイテムをご紹介します

Column

秘められた御内原 ～奥で暮らす人々の想い～

お得! 首里城公園年間パスポート

入館料2回分の料金で、1年間何度でも入館できるお得なパスポート。

- 更新特典
- ① 首里城公園直営売店のオリジナル商品がパスポート提示で10%割引!!
 - ② 抽選で1万円分の商品券を進呈!



海洋博公園のご案内

チューリップフェア

県内最大級! 8万球のカラフルなチューリップが熱帯ドリームセンターを彩ります。



日付 平成31年1月19日(土)～2月3日(日)
時間 8:30～17:30 (17:00入館締切)
場所 熱帯ドリームセンター
料金 入館料のみ(大人760円、中学生以下は無料)
※1/31(木)は洋蘭博覧会準備のため休館させていただきます。

美ら海花まつり

色鮮やかな花々や立体花壇が来園者を出迎えます。フォトスポットも満載!



日付 平成31年1月26日(土)～2月24日(日)
時間 8:00～18:00
場所 噴水広場ほか
料金 無料

沖縄国際洋蘭博覧会2019

テーマは「アジアオーキッド ～世界に誇る花～」。会場は一面ランで装飾され幻想的な花の世界をご覧ください。



日付 平成31年2月2日(土)～11日(月・祝)
時間 8:30～17:30 (17:00入館締切)
場所 熱帯ドリームセンター
料金 入館料のみ(大人760円、中学生以下は無料)



題字: 御城だより
御城(ウグシク)とは首里城の敬称。首里では今でも親しみを込め、この呼び方が使われています。

表紙: 東のアザナからの眺め
H31.2に新たに開園する首里城「奥」の世界。「東(あがり)のアザナ」という物見台からは360°の大パノラマが広がる。まだ見ぬ絶景をぜひご覧ください。

御城だより Vol.6 冬号 季刊誌

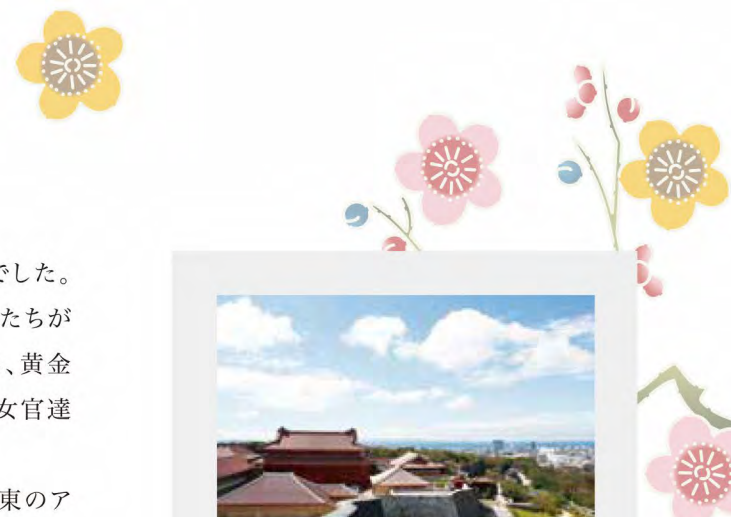
〒903-0815 沖縄県那覇市首里金城町1-2
TEL: 098-886-2020

【発行日】2019年1月1日
【編集・発行】国営沖縄記念公園(首里城地区)、県営首里城公園
指定管理者 一般財団法人 沖縄美ら島財団

URL <http://oki-park.jp/shurijo/>

よりダイープな首里城をご案内
首里城「奥」の世界、ついに開園





平成31年2月 首里城「奥」の世界、ついに開園



いままで見るができなかった、よりディープな首里城をご案内!

首里城は、政治・行政を司る「行政空間(「表」の世界)」、聖地として崇められた京の内の「祭祀空間」、国王とその家族、女官が住んだ「御内原」と呼ばれる「生活・儀礼空間(「奥」の世界)」と役割ごとに3つのエリアに分かれています。

平成31年2月1日より、これまで立ち入ることができなかった御内原エリアなどがついに開園します。

正殿の東側に位置する御内原は、往時、国王の私生活空間であり、女性中心の生活が営まれるエリアだったの

です。国王一家の男性以外は原則として立ち入ることができませんでした。禁を破り御内原へ立ち入った者は、流刑に処されました。また、女性たちが外の世界へ出ることも厳しく制限されていました。「奥」の一部である、黄金御殿と近習詰所との間に、「鈴引之間」と呼ばれる部屋があり、ここで女官達が鈴を引き、表との連携を取っていたとされています。

御内原は、淑順門、黄金御殿・寄満、近習詰所、奥書院、寝廟殿、東のアザナ、二階御殿、美福門、継世門、世誇殿、白銀門からなるエリアです。

これまでは、王や王妃、王母の居室であった黄金御殿などが供用開始されていましたが、今回の開園により、国王が日常を過ごしていた居室「二階御殿」、国王が亡くなり次期国王の即位の礼が行われた「世誇殿」、「東のアザナ」など、新たに足を踏み入れることができるエリアが増えました。

国王や女官たちの生活を紐解く、御内原。よりディープな首里城を探索してみませんか。



あがり
東のアザナからの眺め

東のアザナから首里や那覇の街のみならず東シナ海を望むことができ、天気の良い日には東は久高島、西は慶良間諸島を見通すことができます。ぜひこの美しい風景をご堪能ください。

OPEN!

白銀門、あがり東のアザナ、寝廟殿跡、美福門、継世門、二階御殿、黄金御殿・寄満、世誇殿、女官居室、淑順門、金蔵跡、右掖門、北殿、正殿、御庭、南殿・番所、書院・鎖之間、京の内、下之御庭、首里森御嶽、系図座・用物座、奉神門、供屋、日影台、廣福門、漏刻門、久慶門、瑞泉門、西のアザナ

二階御殿、世誇殿、女官居室、金蔵跡、美福門、白銀門、寝廟殿跡

※新規開園エリアに関する情報やイベント内容は、決まり次第ホームページにてお知らせします。 ※一部施設はご見学出来ない場合がございます。ご了承ください。

琉球使節と楽童子

琉球の江戸参府



琉球使節行列図

容姿端麗なエリート集団、楽童子に迫る

江戸時代、薩摩藩の参勤にともなって琉球使節が江戸へ18回派遣されました。使節には徳川将軍の代替わりを祝う慶賀使と琉球国王の就任を感謝する謝恩使の2つがあり、100人前後の行列を成しました。このように琉球使節が江戸へ行くこと(江戸参府)を「江戸上り(江戸立)」と言い、琉球と日本の文化交流の一端を担ったとも評価されています。

初公開の『琉球使節行列図』は、尚育の18代国王就任を感謝する使節(謝恩使)の行列を描いたもので、1832(天保3)年頃の木版多色刷りの絵画(錦絵)です。輜と呼ばれる輿のかたちをした乗り物に座る人物は使節の代表である正使の豊見城王子ですが、「豊見城王府」との誤植が確認できます。また、中国風の衣裳に身をつつんだ使者たちは独特な顔立ちですが、後段右側の馬に乗る楽童子は一際艶やかに描かれています。当時の日本人々にとって琉球使節の行列は注目の的であり、目的地の江戸もさることながら街道筋の市中などでは、いわゆる琉球ブームが巻き起こっていました。本資料の他にも版元(印刷業者)によって木版印刷の行列図や琉球のガイドブックが作られ販売されました。

さて、『琉球使節行列図』でとりわけ美しく描かれる楽童子ですが、15歳から18歳位の6名の少年たちで、琉球使節のなかでもやはり花形の存在でした。江戸へ赴いた彼らは、徳川将軍の御前で音楽を、薩摩藩主の御前で、音楽や舞踊、書などの芸事を披露します。当時の琉球士族やその子弟は教養のほか、芸事をたしなむことが求められていましたが、その中でも楽童子は特に優れ、かつ容姿端麗であったといえます。

本展では、絵画や書跡などの資料を通じて琉球使節のメンバーの旅程での活動を紹介します。なかでもとくに楽童子の存在に迫ります。

江戸でも大評判!! の楽童子の書

1832(天保3)年頃に描かれた『舞楽図』は12m余にも及ぶ色鮮やかな絵巻物で、楽童子の役割が象徴的に表現されています。江戸の薩摩屋敷で楽童子が居並ぶ人々の前で書をしたためる様子や、楽器の演奏、踊りを披露している場面が描かれています。

また、この頃の楽童子の一人に馬克承(小緑里之子)がおり、どこか初々しいさもありながら熟達した見事な直筆の書を残しています。美少年として江戸で評判になった彼は当時弱冠13歳。書には、対外的な琉球の別称と使節の一員として「中山楽童子」と肩書きが堂々と記されています。アイドル的な存在でありエリートでもあった楽童子。馬克承はその後、琉球王国の大臣に相当する三司官まで出世し活躍します。名家の子弟から選ばれた教養高い楽童子ですが、別の記録では派遣前まで

舞楽や書などの稽古に励んだことがわかります。彼らは、天賦の才をもつのみならずさらに芸を磨き、江戸という舞台で技を花開かせたのでした。

古くから、書は文人の嗜みとして尊ばれていたこともあり、文房具は江戸参府の際の将軍への献上品としても好まれました。墨をする際に、風で運ばれてくる塵などが硯の中に入るのを防ぐ、硯屏という衝立があります。献上用に製作されたとみられる『黒漆山水楼閣人物螺鈿硯屏』は、黒漆にけわしい山やさざめく川、中国風の建物を螺鈿で描いた豪華な文房具です。琉球近海でとれる夜光貝などを用いた献上用の螺鈿漆器は、首里王府の貝摺奉行所という役所でデザインされ、王国の工芸品として多くの人々を魅了してきました。



舞楽図

【琉球の江戸参府】 琉球使節と楽童子

会期 2018年12月14日(金)～
2019年1月31日(木)

場所 南殿二階特別展示室
※ 作品保護のため、一部展示替えがあります。

琉球の江戸参府

御座楽

きらびやかな琉球楽器の世界

琉球楽器は、14世紀後半に中国の福州から琉球の久米に移り住んだ人たちによってもたらされたといわれています。また楽器と共に「御座楽」や「路地楽」などの音楽も伝来しました。その後、琉球独自の発展を遂げ、頻りに演奏されるようになります。御座楽は、首里王府で儀式の際に演奏された式楽となり、室内で座して演奏することからその名がつけられました。路地楽は、行列の際に屋外で演奏することにちなんでいます。

20種類ほどの楽器を様々な楽器構成で演奏することが特徴で、江戸参府では楽童子が楽器演奏を担いました。また、中国から冊封使が来琉した際にも演奏され、式楽として琉球王国の公式行事には欠かせないものでした。それは王国崩壊まで続きました。『琉球人舞楽之図』には、楽童子が華やかな衣裳を着て楽器の演奏や踊っている姿が艶やかに描かれています。

琉球楽器は演奏されるだけでなく、きらびやかな装飾が施され献上品にもされました。江戸参府の際に、琉球使節が楽器を携え尾張徳川家や水戸の徳川家に献上し、共に美しい状態で残されています。今回の企画展では、1790(寛永2)年に尾張徳川家へ献上され、現在も名古屋徳川美術館が収蔵する21点の楽器を2001(平成13)年から6年の歳月をかけて模造復元した琉球楽器一式を展示します。

復元された琉球楽器には、当時の高い琉球の漆芸技術も再現されています。きらびやかに蘇った琉球楽器は、現在の楽器との違いも際立ち非常におもしろくご覧いただけるはずです。例えば、「長線」は、4絃の低い音を奏でる撥絃楽器で、黒漆を塗った胴部分の表裏に、鳳凰や薔薇などの吉祥文が箔絵・漆絵の技法で装飾されています。この楽器は、類似するものが少なく珍しいものです。また、「夜雨琴」は、木製の撥で絃を叩いて演奏し、現在のピアノの原型のような構造形態です。表面には山水楼閣人物図が描かれ、撥には金箔が貼られるなど大変豪華な作りとなっています。このような独自の楽器だけでなく、現在も残っている「三線」にも豪華絢爛な装飾が施されています。蛇皮を張った胴部は、板状に加工した鼈甲の板をぐるりと巻き、鯨の髭で縁取りされ、象牙の鉤で留められています。こうした琉



琉球人舞楽之図

球楽器は、贈呈品として高い価値を持つものであったのです。

企画展では、琉球楽器を「吹奏楽器」「擦弦楽器」「撥絃楽器」「打楽器」に分類し展示しています。現在の沖縄の音楽では、中心楽器として三線がよく知られておりますが、御座楽では、「横笛」で調弦を取り音高の基準とし、「哨呐」が御座楽の軸として欠かせない楽器でした。琉球古典音楽とも異なり、中国音楽に近い響きを持ち、雅楽のような音楽が奏でられていたのです。残念ながら、御座楽は琉球王国の滅亡とともに伝承の場を失い一度は途絶えてしまいましたが、近年では様々な調査研究が行われ、幻となった御座楽を耳にすることができるようになりました。現在首里城公園では、「新春の宴」など、往時の儀式を再現したイベント時に演奏されています。また、今回はギャラリートークのなかで、楽器の一部の演奏を企画しております。豊かな御座楽の音色と絢爛な琉球楽器を、ぜひお楽しみください。



琉球楽器(復元)

ホンテウ 横笛(長・短)

ツツナ 哨呐

チャンスエン 長線

ヤウキン 夜雨琴

【琉球の江戸参府】 御座楽 ～ 献上された琉球楽器 ～

会期 2018年11月30日(金)～
2019年1月31日(木)

場所 黄金御殿特別展示室
※ 作品保護のため、一部展示替えがあります。



御内原エリア等 開園記念グッズ

ついにオープンする首里城の奥の世界「御内原」。開園を記念し、首里城オリジナルのグッズをご用意しました。切手から、ハンダタオルまで素敵なデザインが勢揃い。開園記念の思い出にぴったりのアイテムを見つけてみてはいかがでしょうか。

ハンカチタオル 380円(税込)



フェイスタオル 1410円(税込)



御内原エリア等開園記念切手 1,000円



- 切手と写真部分を郵便物に貼って、ご利用いただけます。写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。
- 郵便料金納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に消印がかかることがあります。

キーホルダー 440円(税込)



首里城正殿、ついに色直し完了!



首里城公園では、平成28年8月から着手していた首里城正殿外部の漆等塗り直しの作業が、平成30年11月をもって完了しました。首里城は天然の漆が塗られた、いわば「大きな漆工芸の作品」です。2年3ヶ月をかけお色直した正殿は、より鮮やかに美しく輝いています。

平成4年の開園から約26年、その間にも部分的な塗り直しは行われてきましたが、背面側から始まり、唐破風、正面左右と全方位を同時期に塗り直したのは今回が初めてとなります。開園当時より研究が進み、より琉球王国時代に近い工程と技法によって塗り直しの作業が行われました。正に今が最高に輝いているとき、日本で唯一の朱(あか)い城の艶やかさを、ぜひ間近でご覧になってください。皆様のご来城をお待ちしております。

首里城コラム Column

秘められた御内原

奥で暮らす人々の想い

正殿を境に男性が取り仕切る「表」の世界。それに対して、東側一帯は「御内原」と呼ばれ、国王やその親族、女官たちが暮らすプライベート空間となっていました。淑順門は、表の世界と御内原を区切る門の一つで、一步そこをくぐれば古い伝統と習慣を重んじる王妃を中心とする秘められた女性の世界となりました。首里城に仕える女性は、表の男性の諸官吏たちとは異なり、全員がこの御内原に住み込みで働き、外に出ることはほとんどありませんでした。

御内原に仕える女性は、王妃・王夫人を取り巻く「御側御奉公」と称する士族の婦女のグループと、多岐にわたる官廷職務を担う「城人」と総称される女官のグループに大別されました。男性の役職は、政治的権力や家柄などによって決定されましたが、女官は必ずしもそうではなく、地方農村から見目麗しい乙女たちが選出されたのです。女官の卵に選ばれると、御内原へ住み込み、古参の女官から厳しい礼法や内裏言葉、生活習慣などが叩き込まれました。

大奥である御内原への立ち入りが許されたのは、特別な役割を持った者だけでした。そのため、女性たちはちょっとしたきっかけで垣間見た表の世界の男性に恋心を抱くことがありました。そんな想いを託した次のような琉歌が残されています。

ます。

「赤田門や 詰まるとも 恋ひしみの門や つまて呉るな」

「赤田門」は継世門の別名で、「みもの門」は淑順門の別名です。「赤田門は閉まっても構わないが恋を運ぶみもの門は閉まらないでほしい」と、恋心を詠んだのでした。

また、御内原をのぼり、女官室に向かう城の石垣は高台になっています。ここは物見台にもなっており、ホームシックになった女官たちはしばしばこの高台から城下を見下ろしていました。この場所の眼下には円覚寺があり、ぼんやりと外の世界に想いを馳せる女官に向けて円覚寺の坊主が手ぬぐいを振っていたという琉歌も残っています。閉ざされた世界で生きる者同士、一瞬の出会いと別れが、この場所には刻まれているのです。

継世門



INFORMATION

首里城公園 SHURUJO CASTLE PARK

美術館であそぼう 首里城でおどかけ えの教室

首里城には たくさんの色があるんだ!!

いろんな形の植物があるよ!

首里城公園

無料 図画・フォト作品展

実施日 2019年1月1日(火)~1月20日(日)

内容 図画テーマ: 首里城守礼門または首里城の城壁 場所 首里杜館B1ビジターロビー

首里城公園と沖縄県立博物館・美術館が連携して開催した「おどかけ絵の教室・首里城で写生大会!」に参加した子供たちの図画作品や実施の様子を写したフォトを展示します。

守礼門の模様って おもしろい♪

首里城公園管理センター (一財)沖縄美ら島財団 首里城公園管理部 TEL.098-886-2020 <http://oki-park.jp/shurijo/>